



時事評論家 増田俊男

## 第二次東西冷戦時代の始まり

第一次東西冷戦とは 1945 年第二次世界大戦直後から始まった米ソ冷戦のことで、米ソ陣営に今日のような経済依存関係はなく、完全に分裂した状態下で朝鮮戦争、ベトナム戦争等々の代理戦争が行われた。

トランプ前大統領の「アメリカファースト」に基づく「対中冷戦」、そしてプーチン露大統領のウクライナ侵攻に対するバイデン現大統領による徹底した対ロ制裁。

欧州、その他で今まで中立国であった国が次々と NATO 加盟申請を始めているように世界は完全に東西に分断されようとしている。

まだ欧州のエネルギーの 30 から 40%はロシアに依存している。

こうした東西依存関係が存在する状態で、東西代理戦争としてウクライナ戦争が行われている。

東西依存関係が残る中での東西冷戦を第二次東西冷戦と呼ぶ。

しかし、第二次冷戦は日々第一次冷戦に向かっている。

トランプが世界分断の第一声を挙げ、プーチンとバイデンがそれを促進している。

どこの国でも「政治家は操り人形」が世の真理なら、操り主は一体誰なのか。

「このままだとロシア経済は崩壊する」と誰も言うが、天才プーチンがリスクを踏むはずがない！

プーチンはロシア経済と対米勝算の保障があるからこそ動いたのである。

バイデンも NATO(北大西洋条約機構＝欧州安全保障機構)も、いくらウクライナに兵器を与えても、米軍と NATO 軍が直接ウクライナに投入されない限りウクライナがロシア勝利することはあり得ないことは百も承知である。

ウクライナへ軍事支援はウクライナ戦争の長期化による軍産(主要産業である軍事産業)と、東西分断進行の為である。

東西が完全に分断されて、核戦争が想定されることになると、国民第一の西の民主国家陣営は報復(国民犠牲)を前提とした核先制攻撃が出来ず、国体第一の専制国家は国民犠牲前提の先制攻撃出来るから、東が西を制することになる。

プーチンも習近平も、自分たちが何をしているのかわかっているが、バイデンの心ここにあらず。

見えざる手(資本の意志)から見ると歴史の真相がわかり、さらにこれから独占資本が何をしようとしているのが手に取るように見える。

不透明、不確実に惑わされることなく、自信をもって一歩先を歩む為に、是非「小冊子」Vol.127 を熟読して下さい。

近々完成し発送予定です。

### 増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

投資にビジネスに一番役に立つ「ここ一番」。

「明日では遅過ぎるナウな情報」をその場で必ずお送りします。

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。

詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel : 03-3956-8888、

HP : [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。